別記第１号様式（第７条、第12条関係）

（表）

|  |
| --- |
| 工場・危険物調書 |
| 建築主の氏名 |  | 工事種別 | 新築、増築、改築、移転、 |
| 建築位置 |  | 用途変更、その他 |
| 用途地域 |  | 防火地域 | 防火、準防火、指定なし |
| 工場調書 |
|  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 | 作業場の面積 |
| 敷地面積 |  |  |  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 |
| 建築面積 |  |  |  |  |  |  |
| 延べ面積 |  |  |  |  |  |  |
| 業種 |  | 原料名 |  | 製品名 |  |
| 申請部分の用途 |  |
| 作業方法 |  |
| 危険物 | 　イ　裏面危険物調書による　　　　　　ロ　なし |
| 設備の概要 |  | 機械の種類 | 台　　　　数 | 出　力　（KW） |
| 新　　　　設 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 既　　　　設 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

（用紙寸法　日本産業規格Ａ４）

（裏）

|  |
| --- |
| 危険物調書 |
| 事業内容 |  | 敷地面積 |  |
| 建築物の延べ面積 |  | 貯蔵場の延べ面積 |  | 処理場の延べ面積 |  |
|  | 危険物の種類等 | 危険物の貯蔵量及び処理量 |
| 種　類 | 類別・品別 | 性　　質 | 用　　途 | 最大貯蔵量 | 係数 | 最大処理量 | 係数 |
| 地　　　上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 地　　　下 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 危険物の貯蔵・処理方法その他の参考となる事項 |  |

注１　工作物の場合は、「建築主」を「築造主」と、「建築位置」を「築造位置」と、「建築面積」を「築造面積」と読み替えて記入すること。

２　「業種」の欄には、工場業態が分かるように記入すること。

３　「原料名」の欄には、工場に搬入する原料の品名を記入すること。

４　「作業方法」の欄には、原料から製品に至るまでの作業の流れの図解を記入すること。（機械の種類、原料名、製品等を付記すること。）

５　「危険物の種類等」の欄には、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「政令」という。）第116条第1項の表、消防法（昭和23年法律第186号）別表及び危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）別表第3に掲げる名称を記入すること。

６　「危険物の貯蔵量及び処理量」の「係数」の欄には、準住居地域、商業地域又は準工業地域内に建築又は築造する場合に限り、政令第130条の9第1項の表の用途地域の欄に定める数量を1として、それに対する比を記入すること。

７　単位、メートル法によること。

（用紙寸法　日本産業規格Ａ４）